

教育の目標

①学校教育目標

笑顔・元気・命かがやく子供の育成
—のびっ子笑顔大作戦—

〔熊本県〕
「人づくり」の視点

〔上天草市〕
「人づくり」の視点

創る学校

育つ児童

高める教職員

○喜びと楽しさ、そして愛（合い）に溢れ、整った環境により生まれる安心安全。そんな学校だから保護者・地域からの親しみと信頼がある。

○すすんで助け合う子供・・・具現化された「徳」
○すすんで学ぶ子供・・・具現化された「知」
○すすんで体を鍛える子供・・・具現化された「身体」
○すすんで働く子供・・・具現化された「体」

○児童の心に寄り添い、可能性を伸ばす情熱と使命感
○課題意識を持ち、指導力の向上への高め合い
○組織の一員としての自覚を持ち、協力・協働での歩み
○保護者・地域から信頼と連携

教育の指標

②教育指標

笑顔の実現 元気の保持 命の意識化・行動化

教育の主題

③目指す資質・能力

方法を選択し、物事に主体的に取り組む
児童個々の自律性

教育の仮説

④育成へのApproach

すすんで、自分で、自分たちで

「主体性に培う教育実践」の展開による3つのISSUEの解決

心づくり
自律の「心」が育つ

学びづくり
「学力」が高まる

生活づくり
「品格」が備わる

P計画

D実践

C評価

A改善

憧憬へ

態度へ

のびっ子
スーパー小学生
への道

雨ニモマケズ
(のびっ子編)

相関

教育の視点

⑤ 学 力 向 上

進んで助け合い・働く子ども

進んで学ぶ子ども

進んで体を鍛える子ども

スキル化し、定着を図る
知識・技能

○価値理解・人間理解に基づいた道徳的知識の習得と道徳的実践を可能にする実践スキルの定着
○人権尊重に関する知識の習得と人権感覚に基づいた実践を可能にする実践スキルの定着
○郷土と自分との関わりについての認識と行動を可能にする行動スキルの定着

○教科等の基礎的基本的な知識の習得と技能の定着
○主体的・対話的で、深い学びの実現させる学び方の定着（自己選択・自己調整・言語活動・家庭学習）

○健康で、安全な生活を送ることを実現する知識の習得と技能の定着
○学校・家庭生活のルールや約束の理解とその行動様式の定着
○基礎的な体力の向上及び確保

言語活動を核に高める
思考力・判断力
表現力等

○物事を多面的・多角的に考えることや生き方について考えを深める学習活動の経験の積み重ね

○教科の見方・考え方を思考の視点とした言語活動の積み重ね
○課題解決の見通しを持ち、知識技能を活用しながら取り組む学習活動の経験の積み重ね

○自分の健康や生活習慣を管理し、改善していく学習活動・家庭生活の経験の積み重ね

態度化で培う
学びに向かう力
人間性

○自律した人間として、他者との関わりを大切にしながら、よりよく生きようとする態度の育成（道徳性及び人間性）

○他者と協働し、主体的に学習に取り組もうとする態度の育成（学習態度）

○健康で、安全な生活様式を選択し、実現しようとする態度の育成（生活態度）

教育の基盤

⑥合意形成と共通実践

生活指導

○のびっ子の品格を高め、プライドの高揚を図る取組の推進

学習指導

○「学びのひとりだち」実現に向けた学習指導の展開

道徳教育・人権教育・特別支援教育

○人間の自然性の視点・心の綱引き・個と集団の関わり
○のびっ子笑顔大作戦（SDGs大作戦、ドラえもん・アンパンマン化計画）
○共感的理解・相手意識・合意形成・UDの視点・体験活動

地域とともにある学校

○学校運営協議会の機能を活かした学校経営
「小中連携の強化」「考え、行動するPTA活動の展開」「学校支援活動の充実」を推進と評価〔五者連携〕

危機管理

○予想される学校危機への対応準備〔マネジメント〕
災害対策・防災教育・感染症対策・健康教育等

課題対応

○いじめや不登校事案の早期発見、早期対応・組織的対応

研 修

○意図ある取組の推進・数値化・可視化
○授業力向上への自己研究への意欲を高める
○互いに研修で得たものを分かち合う。
○研究は「子供たちへ」、修養は「自分へ」

組織力・働き方

○個人の時間を自分自身で創出する
○ワークライフバランスを保つ
○仕事の区切りより、時間の区切りを重視する
○無駄の排除（合理性を求め、時間を創出する）
○二人で、三人で、チームで（求める・気づく・携える）

評価活動

○よさ、のびを捉え、認めて、ほめて、励ます ○学習状況と生活を関連づけた評価→成長の根拠付け ○三段階診断的評価の充実

実態把握

○子供を知る ○保護者を知る ○地域を知る ○同僚を知る